

京都舞鶴港のクルーズ模様

2011年に「国際海上コンテナ」「国際フェリー・国際RORO船」「外航クルーズ」の日本海側拠点港に選定された京都舞鶴港。昨年9月には、同港へ入港するクルーズ客船として過去最大の「マリナー・オブ・ザ・シーズ（総トン数138,279トン）」が入港。日本船、外国船あわせて年間8回の入港がありました。

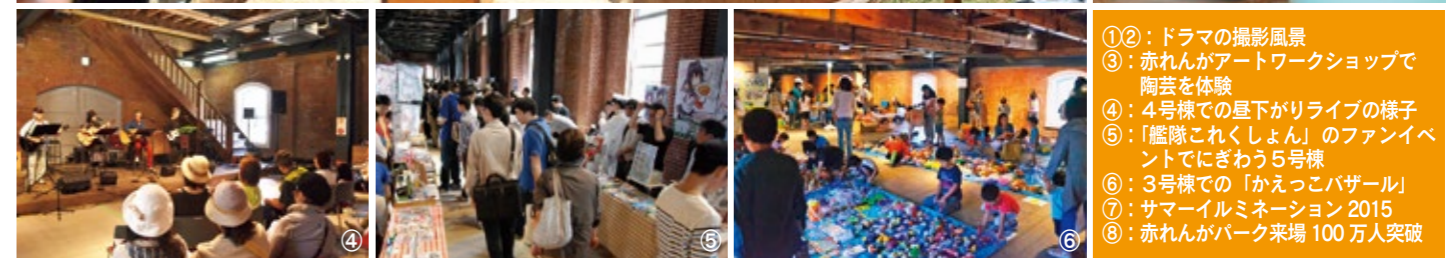


①②③④：大型クルーズ客船「マリナー・オブ・ザ・シーズ」が入港。街中での案内のほか、出港イベントでは府立工業高校吹奏楽部の演奏など、まちをあげての「おもてなし」で乗船客を歓迎しました。

⑤⑥⑦：クルーズ客船「ロストラル」が入港。日星高校吹奏楽部の演奏の後、青いハンカチを振って出港を見送りました。

にぎわいを増す舞鶴赤れんがパーク

2012年に新たな文化創造の拠点としてグランドオープンした舞鶴赤れんがパーク。当時の景観を生かし、「日本のいちばん長い日」や「妻と飛んだ特攻兵」、「海賊とよばれた男（12月公開予定）」などの映画やドラマの撮影が行われています。また、赤れんがフェスタや赤れんがハーフマラソンなどのイベント会場としても活用され、年々にぎわいを増しています。昨年12月12日には100万人目の来場者を迎えました。



①②：ドラマの撮影風景
③：赤れんがアートワークショップで陶芸を体験
④：4号棟での昼下がりがライブの様子
⑤：「艦隊これくしょん」のファンイベントでにぎわう5号棟
⑥：3号棟での「かえっこバザール」
⑦：サマーイルミネーション2015
⑧：赤れんがパーク来場者100万人突破

ありがとう
舞鶴赤れんがパーク
来場者100万人達成
平成27年12月12日